

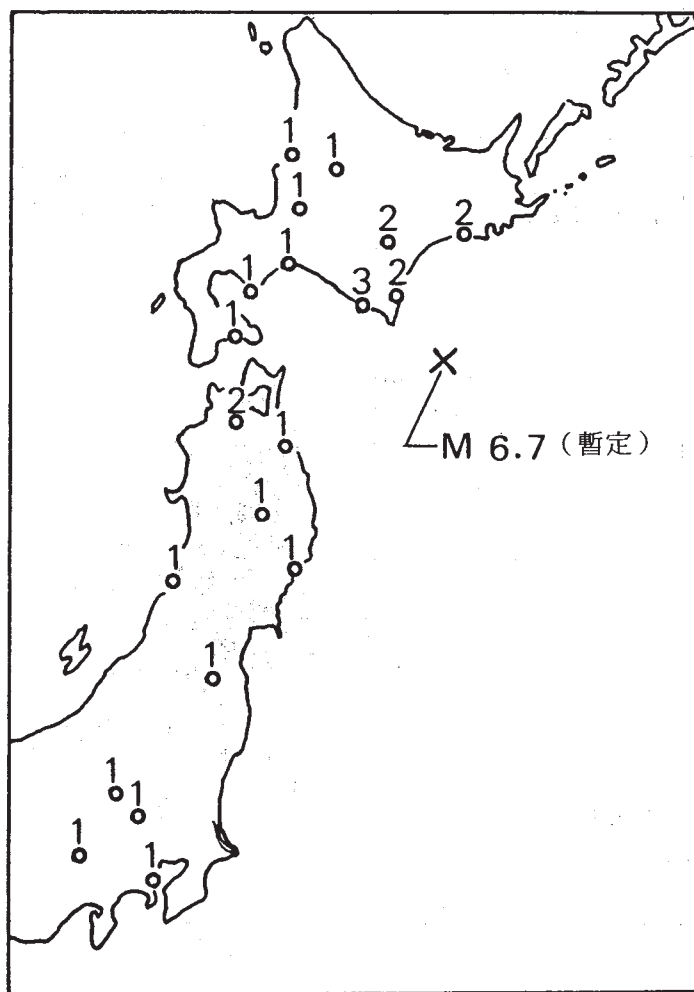
1 - 2 1983年4月30日釧路沖の地震

The Earthquake off Kushiro, April 30, 1983

気象庁地震予知情報課

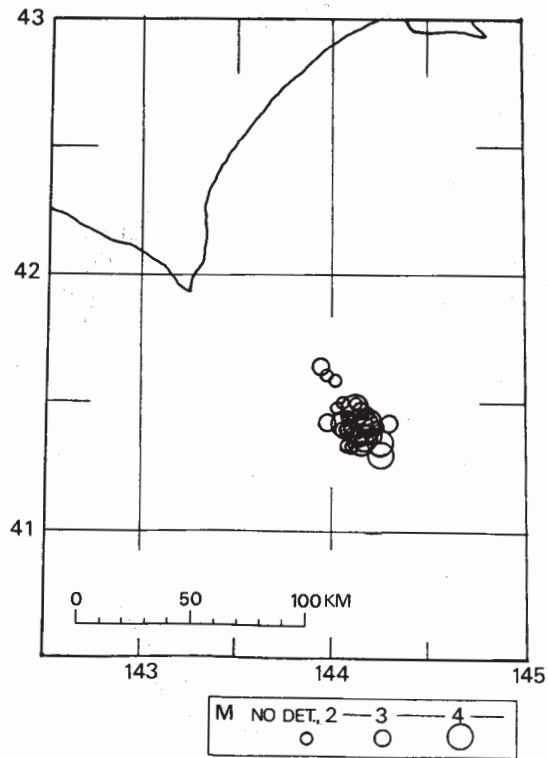
Earthquake Prediction Information Division, Japan Meteorological Agency

4月30日23時3分頃、釧路沖（東経144度2.3分、北緯41度28.9分、深さ76km、発震時23時3分48.4秒）にマグニチュード6.7の地震が発生した。第1図はこの地震の震央および震度分布である。この地震では、浦河で震度3であったのをはじめ、北海道から中部地方の一部にまで及ぶ広い範囲で有感であった。第2図は札幌管区気象台による余震の分布であり、第3図は広尾における時間別の余震回数である。この地震では余震は比較的少なく、5月2日頃にはほぼおさまった。第4図はこの地震のメカニズムであるが、これは暫定震源によるものである。



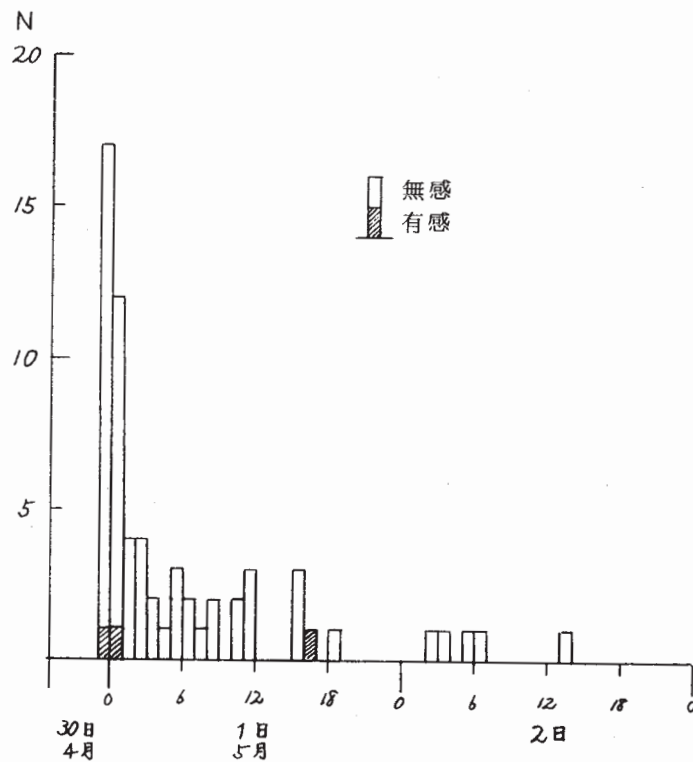
第1図 1983年4月30日釧路沖の地震による震度分布

Fig. 1 Distribution of seismic intensities for the earthquake off Kushiro, April 30, 1983.



第2図 1983年4月30日釧路沖の地震の余震分布（札幌管区気象台による）

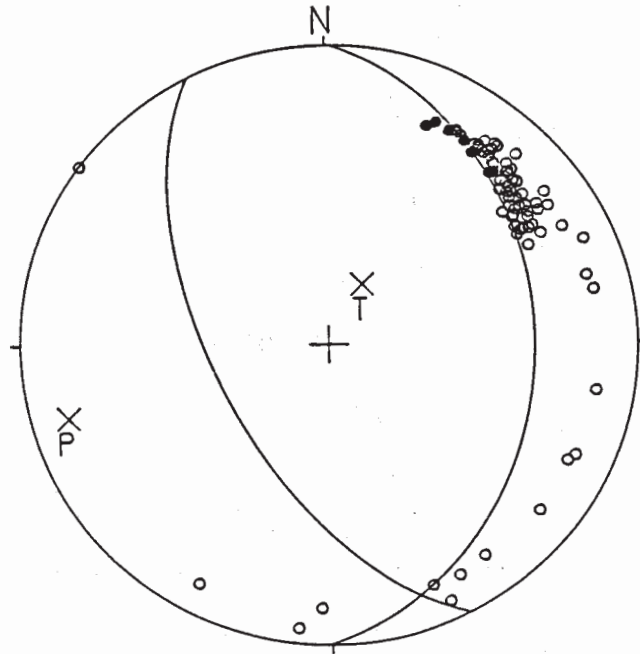
Fig. 2 Distribution of aftershocks of the earthquake off Kushiro, April 30, 1983.



第3図 広尾における時間別余震回数

Fig. 3 Hourly number of aftershocks of the earthquake off Kushiro, April 30, 1983 observed at Hiroo.

OIP OIR.=89.2 OIP=33.6 OIP OIR.=296.5 OIP=59.4
P AZ=105.9 IN=76.7 T AZ=331.0 IN=18.5
TYPE:REVERSE
O-S O-S



第4図 1983年4月30日釧路沖の地震のメカニズム（上半球投影）

Fig. 4 Source mechanism of the earthquake off Kushiro, April 30, 1983.